

JA 愛知厚生連 足助病院



病院長名	小林 真哉
所在地	〒444-2351 豊田市岩神町仲田 2 0 番地
交通案内	豊田市駅より 名鉄バス 豊田市発足助(鞍ヶ池公園前・香嵐溪経由)⇒ 足助大橋より徒歩 3 分 所要時間 44 分

□ 病院の特徴

足助病院は市街からは離れた中山間地域のへき地医療拠点病院として、院内の診療のみならず無医地区への医療提供、へき地診療所への医師派遣など大きな役割を担っています。「在宅医療から急性期医療まで」を合い言葉に、職員一丸となって地域完結型の医療に取り組んでいる病院です。診療圏の高齢化率は40%以上で、全国平均の23%を大きく上回る過疎化が進む少子高齢化の先進地域です。年をとっても安心・満足して暮らせる地域作りを目標に地域のセーフティネットとして、保健・医療・福祉（介護）を提供します。診療以外では「教育の場」の提供を軸の一つとしています。様々な大学からの医学生実習、年間70名近い医師の初期・後期臨床研修の地域医療研修など大変多くの医学生・医師へ教育の場を提供してきました。

□ 研修プログラムの特徴

足助病院総合診療科専門研修プログラム

【研修目標】

具体的に7つの資質・能力（1. 包括的統合アプローチ、2. 一般的な健康問題に対する診療能力、3. 患者中心の医療・ケア、4. 連携重視のマネジメント、5. 地域包括ケアを含む地域志向アプローチ、6. 公益に資する職業規範、7. 多様な診療の場に対応する能力）を獲得することを目指します。

【研修期間】

3年間（うち6ヵ月連携施設）

【研修スケジュール】（例）

- 1 年目 総合診療Ⅱ 4 月～3 月
2 年目 総合診療Ⅰ 4 月～9 月 内科 10 月～3 月
3 年目 小児科（連携施設）4 月～6 月 救急科（連携施設）
7 月～9 月 内科 10 月～3 月

足助病院総合診療科
専門研修プログラム



総合診療科専門研修は、卒後3年目からの専門研修（後期研修）3年間で構成されます。総合診療Ⅰ・Ⅱ領域および内科領域については当院で行います。小児科領域と救急科領域については連携施設にてそれぞれ3ヶ月ごとに研修を行います。ローテーションについては統括責任者と本人の希望により相談が可能です。

▼ 訪問診療



▲総合診療科カンファレンス



□ 主な連携施設

豊田厚生病院、安城更生病院

同じ JA 愛知厚生連グループの病院である豊田厚生病院と安城更生病院を連携施設とし、適切な連携のもと研修を行っています。連携施設では地域医療では行うことができない救急科領域を3ヶ月、小児科領域を3ヶ月行います。

メッセージ

プログラム統括責任者（診療部長 正木 克由規）

足助病院では現院長の小林院長が掲げる「教育の場」の提供として、医学生実習や初期・後期臨床研修の場として非常に多くの医学生・医師を受け入れています。若い医師たちが当院で地域医療を経験し交流することは、互いに大きな刺激となると思います。

令和5年度よりさらなる教育の場の提供として足助病院総合診療科プログラムを開始しました。大学病院のような超急性期医療と比較すると、医療資源の乏しい環境の中でも適切な診療を行い、近隣医療機関への紹介や居宅介護・在宅医療の提案など、患者さんの生活まで診ることができることは地域医療で総合診療を学ぶ最大の魅力といえます。また当院では山間部の住民の方へのへき地巡回健診や近隣の学校健診など地域の保健活動を行っています。保健・医療・福祉（介護）を提供し、より地域に根ざした医療機関として、足助病院を継続させていく使命をもち、職員一同、日々の診療に励んでいます。当院のプログラムを通して地域医療を守っていく使命や情熱を育んでいただけるよう、指導医だけでなく職員一同、サポートさせていただきます。



□ 募集要項

・採用予定人数	1 人
・給与／月額	505,696 円 卒後3年目（概算）
・当直回数／月	2 回
・当直料／回	30,500 円/回
・その他	医師住宅あり
・応募連絡先	担 当 者 総務課 佐々木 電話番号 0565-62-0681 E メール syomu@asuke.jaaikosei.or.jp